第743号 平成19年 4月1日 毎月1日・15日発行

広報 いながわ

編集・発行 猪名川町 総務部 総務課
〒666―0202
兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11―1
電話番号 072（766）0001（代表）
FAX番号 072（767）2255

人の動き

人口：31,630（＋24）
男：15,301（＋7）
女：16,329（＋17）
世帯：10,867（＋20）
（平成19年３月１日現在）

真田町長が平成19年度施政方針を表明

2月26日に開会した第334回町議会定例会において、真田町長は、町政全般にわたる平成19年度施政方針を表明しました。これは、今年度に行う事業に対する町の考えを示したものです。

この施政方針の各施策や事業概要をお知らせします。全文は町ホームページに掲載しています。また、役場総合案内窓口にも設置しています。

主要な事業（抜粋）

団塊世代の生きがいづくり事業【新規】
「多田銀銅山悠久の館」の運営管理【新規】
情報セキュリティ対策の強化【継続】
乳幼児医療助成制度の拡大【新規】
障害者福祉施設整備事業補助金：猪名川園施設整備への助成【新規】
保健センターに管理栄養士を配置【新規】
農産物加工施設の整備【新規】
木間生旭ヶ丘線道路新設改良工事【継続】
大島小学校・楊津小学校改築事業【継続】
ステップアップ（言葉の力）まちづくり事業【新規】
スクールアシスタント配置：児童一人ひとりの実態に応じた指導・支援【新規】
文化体育館音響設備の改修【新規】
消防通信指令業務の川西市との共同運用【継続】

昨年10月には県下各市町において「のじきく兵庫国体」が開催され、本町はレスリング競技を４日間にわたり盛大に開催し、実行委員会を中心に住民の皆様のご協力により、会場いっぱいに繰り広げられた白熱した競技も無事、成功裡に終えることができましたことに深く感謝申しあげます。

さて、本町においては、行政改革の積極的な推進に向け、各事業の費用対効果や必要性などを厳しく精査するとともに、経常的な経費の節減に向けては、民間委託や指定管理者制度の積極的な推進を図り、さらなる行政コストの削減に努めます。時には、住民と行政が膝をまじえて懇談し、住民の方々の声に真摯に耳を傾け、その期待に応える町政を推進してまいります。

また、地方分権が加速する中、本町独自のまちづくりを推進するため、さまざまな行政課題の解決に向けた、簡素で効率的な組織づくりをめざし、新年度に向け組織・機構の見直しを行いました。

住民と行政がそれぞれの役割と責任を果たし、互いが協力して住みよいまちをつくるため、地域担当職員が各小学校区の区長としての役割を担い、地域と行政とのパートナーシップの確立をめざし、地域ごとに特色ある施策の実施についても判断できるものとし位置づけてまいります。

今後退職が始まる、団塊世代の方々の豊富な知識・経験・技術などを、地域のまちづくりに生かしてもらえる方法や仕組みづくりなどを進めるため「生きがいづくり室」を新設し、生きがいづくりのひとつの取り組みとして、遊休農地・里山を活用し、団塊世代を地域農業・林業の新たな担い手と位置づけ、講座やフォーラムなどを通じて、農林業後継者の育成に努めてまいります。

平成20年の医療制度改革にともない、老人保健・介護保険などにかからないための住民の健康づくりとともに、健全な食生活の実現、食文化の継承など「食育」を推進するため、「健康づくり室」を保健センターに新設いたします。

また、窓口サービスの向上をめざし、住民票や印鑑登録証明書、税務証明など証明発行を一本化する専用窓口を本年7月から新設いたします。

平成16年度から取り組んできました歴史街道整備事業が完了し、銀山地域をはじめとする貴重な歴史・文化遺産を展示するための「多田銀銅山悠久の館」や、周辺の山々や清流猪名川がもたらす自然の恵みなど、四季の訪れを身近に感じることができる散策路などが完成したことから、本町で暮らす人々や、観光客に憩いと安らぎを与える取り組みを進めてまいります。

子育て世代への支援として、乳幼児医療助成について、０歳から３歳未満の通院、入院にかかる一部負担をなくし、子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、子育てがしやすい環境づくりに努めてまいります。

本町は、町民憲章において、猪名川の清流に沿い、北摂連山に囲まれた豊かな自然と、将来への限りない希望を持った町として提唱し、先人達の努力により、都市基盤も整い発展してきました。今後は、周辺自然環境との調和を図り、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりに努めてまいります。

施政方針に対する問い合わせは、企画財政課（７６６・８７１３）へ。

今月号の主な内容

２面＝町職員の人事異動　３面＝70歳未満の人は入院前に必ず申請を！　４面・５面＝平成19年度当初予算が可決　６面＝情報ポケット　７面＝図書館・相談　８面＝いながわ特派員報告

「地域のことは地域で決める」みんなが主役のまちづくり

健康福祉のまちづくり

子育て学習センターを子育て支援センターに名称変更し、子育てグループの育成を中心とする取り組みから総合的な子育て支援の推進を図ってまいります。

障害者福祉につきましては、「町障害者計画及び町障害福祉計画」に基づき、「地域であたりまえに暮らし、共に支えあい心豊かに暮らせるまち」の実現に向けて取り組んでまいります。

教育文化のまちづくり

すべての住民の教育に対する強い思いを受け止め、学校・家庭・地域の連携のもと、「教育立町・猪名川」をめざし、学校教育の充実を基盤とする生涯学習社会の構築に努めてまいります。

耐力度不足による校舎改築を進めています楊津小学校および大島小学校について、新年度末をもって改築工事が完成する計画であり、これにより、義務教育施設の耐震化が完了することとなります。

３年目を迎えます「わくわくスクールプラン」に基づき、就学前教育から中学校までの一貫教育のさらなる取り組みを進め、特に「ステップアップ『言葉の力』まちづくり事業」を推進し、保育士や教職員、保護者、地域住民による国語力の向上により、情緒力と感性を磨き、心を伝え合うコミュニケーション能力の育成を図り、豊かな心とあたたかい人間関係にあふれるまちづくり、いじめを許さないまちづくりをめざしてまいります。

▲園児と小学生が学校園を越えて交流

魅力ある都市環境を築くまちづくり

第二名神自動車道建設計画につきましては、平成30年の完成をめざしています。現在、用地買収６車線に係る地元設計協議が進められており、隣接する川西市にインターチェンジが設置されることにより、本町の交通網の向上、並びに多面的土地利用の活用にも大きく寄与するものと期待し、一日も早い完成を望むものであります。

町道の整備につきましては、引き続き木間生旭ヶ丘線の整備に取り組むとともに、県道整備につきましては、平成20年４月開通をめざす北野バイパスの整備に引き続き、北田原から万善までの工区の道路改良の事業化を含め、県に要望活動を行ってまいります。

質の高い生活を実現する、安全で快適なまちづくり

不法投棄対策として、行政が行う監視パトロールの強化にあわせ、住民の方々の協力による不法投棄情報を活用し、「捨てるな！みんなが監視してるぞ！」を合言葉に、官民連携のもと、美しいまち、ごみ投棄のしにくいまちとして、その根絶をめざしてまいります。

交通安全対策として、新たに高齢者の運転に対する事故防止を図るため、民間自動車教習所の協力のもと、高齢運転者の技能講習会を実施し、交通事故防止の徹底を図ってまいります。

産業のまちづくり

耕作放棄や遊休農地の有効活用策として、団塊世代の大量退職期となるここ数年間を、本町の農業転換期として捉え、質の高い野菜生産などの都市近郊農業をさらに発展していくための取り組みを進めてまいります。

すばらしい自然や歴史とロマンにあふれたまち猪名川の名所・旧跡などを訪れる人々に、住民自らが案内する観光ボランティアを活用した新たなガイド事業を実施してまいります。

まちづくりの実現に向けて

「地域のことは地域で決める」といった自己決定・自己責任の意識を持ち、住民による主体的なまちづくりを進めるため、地域担当職員を中心とし、自治会をはじめ、各種地域団体などが横断的な連携・情報交換を図るための協議の場となる「（仮称）地域まちづくり協議会」を小学校区ごとに組織化できるよう支援を行い、住民の参画と協働による安全・安心で快適な魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。